

# 顔文字が文章の信頼度に及ぼす影響

中 丸 茂

## 要 約

本研究は、顔文字が文章の信頼度・感情度・評価度に及ぼす影響を評定尺度法を用いて考察することを目的とした。調査Ⅰでは、顔文字の有無や顔文字の種類の違いが、文章の信頼度・感情度・評価度に及ぼす影響を検討し、文章と顔文字の意味が一致している場合には信頼度・感情度・評価度も高くなり、不一致の場合には信頼度・感情度・評価度も低くなるが、顔文字の有無で変化のみられない場合（意味の融合）もあることが確認された。調査Ⅱでは、顔文字の位置の違いが文章の信頼度・感情度・評価度に及ぼす影響を検討したが有意差はみられなかった。以上のことから、文章と顔文字の意味が不一致の場合には誤解を生じさせる可能性が高くなることが考えられ、不一致の組み合わせを用いる場合には、相手との関係を考慮して使用していく必要があるだろう。また、調査間において、いくつかの項目といくつかの項目間の差で有意差が認められたが、これは、メール使用者の増加にともなって短文や顔文字を使う機会が増加したためと考えられる。

キーワード：顔文字、短文、信頼度、感情度、評価度

顔文字は(emoticon, emotional icon)、近年、インターネットや携帯電話などを使用する際に、メールにおいて感情を伝達する方法としてひろく用いられてきている。顔文字の研究には、顔文字はメッセージの雰囲気や和らげ、相手との親密度を高める(川浦, 1990)、かえって誤解を増やすことになる(Chesebro & Bonsal, 1989, 野島, 1993)、誤解を回避するためには使用方法の類型化に基づいて使用する、相手との関係を考慮して使用を決定する(戸梶, 1997)というものがある。Wolf (2000) は、顔文字の使用に際して、性差があることを報告している。また、中丸(2001)は、メール時の単語の繰り返しが信頼度に及ぼす影

響を検討し、繰り返し回数が多くなると有意に信頼度が低下することを報告している。

そこで、本研究では、顔文字が文章の信頼度・感情度・評価度に及ぼす影響を評定尺度法を用いて考察することを目的とする。

## 調 査 I

**目 的** 顔文字の有無、および、顔文字の種類の違いが、文章の信頼度・感情度・評価度におよぼす影響を、7段階評定尺度法を用いて検討した。

**被調査者** 被調査者は、K大学、および、M大学で心理学（一般教養）を受講している学生、306名（男性90名、女性216名）で、平均19.7歳（18～28歳）であった。

**調査時期** 調査は、1998年10月、および、1999年5月に行った。

**方 法** 調査で使用した短文と顔文字は、戸梶（1997）より4個ずつ選択、「結局これが言いたかった」、「ごめんなさい」、「すごく便利ですね」、「忘れました」という短文と「(^.^)」、「(^\_^)」、「(-\_-;)」、「(+\_+)」という顔文字を用い、顔文字なし（「忘れました」など）、顔文字の位置が後の場合（「忘れました(^.^)」など）の5種類の文章について、信頼度（信頼できる-信頼できない）、感情度（好き-嫌い）、評価度（良い-悪い）を7段階評定尺度法を用いて測定した。また、「(^.^)」、「(^\_^)」、「(-\_-;)」、「(+\_+)」のみについて、感情度、評価度、信頼度、「快-不快」度、「喜-悲」度、「怒-泣」度について測定した。また、各項目間の有意差検定は、対応のあるt検定を用いた。

## 結 果

### 1. メールの使用状況と顔文字の認知について

パソコン通信・インターネットでメールのやり取りを行ったことがある人は、

全体の33.3% (102人), 行ったことがない人は, 全体の66.7% (204人)であった。また, 「顔文字」という言葉を知っている人は全体の44.4% (136人), 「フェース・マーク」という言葉を知っている人は全体の26.8% (82人)であった。

## 2. 顔文字について

信頼度において, (^.^), (^\_^) の間, (-\_-;) , (+\_+) の間に有意差はないが, (^.^), (^\_^) のほうが, (-\_-;) , (+\_+) よりも, 有意に高い ( $P<.001$ ) という結果が得られた。また, 感情度と評価度においては, (-\_-;) , (+\_+) の間以外に, (^.^) > (^\_^) > (-\_-;) > (+\_+) の順で有意に高い ( $P<.001$ ) という結果が得られた (表1)。

表1 顔文字の評定値、および、検定結果 (t検定、df = 305)

	信頼度		1	2	3	4	
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	5.1	1.75	—	t=0.136 ns	t=13.058 P<.001	t=13.683 P<.001	
2 (^_^)	5.1	1.55		—	t=14.420 P<.001	t=15.864 P<.001	
3 (-_-;)	3.1	1.63			—	t=1.238 ns	
4 (+_+)	3.0	1.60				—	
感情度		1	2	3	4		
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	5.8	1.40	—	t=8.357 P<.001	t=9.721 P<.001	t=10.562 P<.001	
2 (^_^)	5.1	1.42		—	t=5.043 P<.001	t=6.336 P<.001	
3 (-_-;)	4.4	1.82			—	t=1.115 ns	
4 (+_+)	4.3	1.18				—	
評価度		1	2	3	4		
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	5.9	1.34	—	t=3.724 P<.001	t=16.321 P<.001	t=15.538 P<.001	
2 (^_^)	5.6	1.27		—	t=15.079 P<.001	t=13.979 P<.001	
3 (-_-;)	3.7	1.71			—	t=0.913 ns	
4 (+_+)	3.8	1.83				—	
快—不快		1	2	3	4		
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	5.8	1.44	—	t=7.764 P<.001	t=19.208 P<.001	t=17.731 P<.001	
2 (^_^)	5.2	1.39		—	t=16.948 P<.001	t=14.118 P<.001	
3 (-_-;)	3.0	1.60			—	t=4.547 P<.001	
4 (+_+)	3.4	1.58				—	
喜—悲		1	2	3	4		
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	6.5	0.89	—	t=15.219 P<.001	t=38.521 P<.001	t=38.478 P<.001	
2 (^_^)	5.5	1.08		—	t=29.490 P<.001	t=28.743 P<.001	
3 (-_-;)	2.8	1.26			—	t=1.679 ns	
4 (+_+)	2.6	1.38				—	
怒—泣		1	2	3	4		
	平均	標準偏差	(^.^)	(^_^)	(-_-;)	(+_+)	
1 (^.^)	4.0	0.74	—	t=0.430 ns	t=4.313 P<.001	t=10.426 P<.001	
2 (^_^)	4.0	0.91		—	t=3.957 P<.001	t=9.638 P<.001	
3 (-_-;)	3.5	1.82			—	t=3.678 P<.001	
4 (+_+)	3.0	1.43				—	

「快－不快」度，「喜－悲」度，「怒－泣」度において，「喜－悲」の項目における (-\_-;) と (+\_+) との間，および，「怒－泣」の項目における (^.^) と (^\_^) の間以外に (^.^) > (^\_^) > (-\_-;) > (+\_+) という順で有意に項目得点が高い ( $P < .001$ ) という結果が得られた (表 1)。

### 3. 顔文字が文章に及ぼす影響

#### (1) 「結局これが言いたかった」について

信頼度において，顔文字なしと (^\_^) の間，(-\_-;) と (+\_+) の間以外に，(^.^) > 顔文字なし・(^\_^) > (-\_-;)・(+\_+) の順で信頼度が有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられた。感情度において，(^.^) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;) > (+\_+) の順で有意に高い ( $P < .001$ ) という結果が得られた。また，評価度において，(^.^) と (^\_^) の間，(-\_-;) と (+\_+) の間以外に，(^.^)・(^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;)・(+\_+) の順で有意に高い ( $P < .001$ ) という結果が得られた (表 2, 3)。

#### (2) 「ごめんなさい」について

信頼度において，(-\_-;) > (+\_+) > 顔文字なし > (^\_^) > (^.^) の順で信頼度が高いという有意な差 ((-\_-;) > 顔文字なし;  $P < .05$ , (+\_+) > 顔文字なし;  $P < .01$ ; その他;  $P < .001$ ) がみられた。感情度において，顔文字なしと (+\_+) の間，(-\_-;) と (+\_+) の間以外，(-\_-;) > (+\_+)・顔文字なし > (^\_^) > (^.^) の順で感情度が高いという有意な差 ((^\_^) > (^.^);  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) がみられた。また，評価度において，顔文字なしと (+\_+) の間以外，(-\_-;) > 顔文字なし・(+\_+) > (^\_^) > (^.^) で，評価度が高いという有意な差 ((-\_-;) > 顔文字なし, (^\_^) > (^.^);  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) がみられた (表 2, 3)。

#### (3) 「すごく便利ですね」について

信頼度，感情度，評価度ともに，(-\_-;) と (+\_+) の間以外，(^.^) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;)・(+\_+) の順で，有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられ

た (表2, 3).

#### (4) 「忘れました」について

信頼度において、顔文字なしと (+\_+) の間、(-\_-;) と (+\_+) の間以外に、(-\_-;) > 顔文字なし・(+\_+) > (^\_^) > (^.^) の順で有意に高い (顔文字なし > (^\_^), (+\_+) > (^.^); P<.01, その他; P<.001) という結果が得られた。感情度において、(^\_^) と (-\_-;)・(+\_+) との間、(-\_-;) と (+\_+) との間以外に、(^\_^)・(-\_-;)・(+\_+) > 顔文字なし > (^.^) で有意に高い ((^\_^) > 顔文字なし; P<.01, その他; P<.001) という差がみられた。また、評価度において、顔文字なしと (^\_^) の間、(-\_-;) と (+\_+) との間以外に、(-\_-;)・(+\_+) > 顔文字なし・(^\_^) > (^.^) の順で有意に高い (顔文字なし・(^\_^) > (-\_-;)・(+\_+); P<.01, その他; P<.001) という結果がえられた (表2, 3)。

表2 顔文字が文章の信頼度の及ぼす影響

	信頼度		感情度		評価度	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
結局これが言いたかった						
0 なし	4.7	1.38	4.3	1.27	4.5	1.42
1 (^.^)	5.2	1.58	5.2	1.53	5.1	1.48
2 (^_^)	4.9	1.43	4.9	1.50	5.1	1.46
3 (-_-;)	3.2	1.53	3.2	1.56	3.4	1.51
4 (+_+)	3.1	1.44	3.7	1.47	3.3	1.42
ごめんなさい						
0 なし	4.9	1.53	4.6	1.63	4.7	1.56
1 (^.^)	2.3	1.41	3.0	1.65	3.1	1.75
2 (^_^)	2.8	1.48	3.2	1.69	3.3	1.69
3 (-_-;)	5.2	1.58	5.0	1.57	5.1	1.64
4 (+_+)	4.5	1.76	4.8	1.63	4.7	1.70
すごく便利ですね						
0 なし	4.8	1.23	5.0	1.28	4.8	1.36
1 (^.^)	5.9	1.23	5.9	1.31	5.9	1.30
2 (^_^)	5.6	1.32	5.4	1.32	5.2	1.33
3 (-_-;)	2.7	1.40	2.9	1.36	3.0	1.48
4 (+_+)	2.7	1.37	2.9	1.36	3.1	1.53
忘れました						
0 なし	4.5	1.51	4.1	1.42	4.3	1.51
1 (^.^)	2.4	1.44	3.0	1.63	2.7	1.55
2 (^_^)	4.2	1.80	4.5	1.74	4.3	1.80
3 (-_-;)	4.9	1.74	4.6	1.67	4.6	1.72
4 (+_+)	4.6	1.76	4.7	1.60	4.6	1.71



**考察** 調査 I で使用した顔文字は、信頼度、感情度、評価度、「快－不快」、「喜－悲」、「怒－泣」の結果より、ポジティブな顔文字 ((^\_^)・(^.^)) とネガティブな顔文字 ((-\_-;)・(+\_+)) に分けられるだろう。この点で、顔文字が文章に及ぼす影響を分析すると「結局これが言いたかった」、「すごく便利ですね」については、ポジティブな顔文字 > 顔文字なし > ネガティブな顔文字という順で信頼度、感情度、評価度ともに高いことがわかる。また、「ごめんなさい」、「忘れまして」については、全体的に、ネガティブな顔文字 > 顔文字なし > ポジティブな顔文字なしの順で信頼度、感情度、評価度ともに高いことがわかる。調査 I で使用した文章を一般的な意味で考えると、相対的に、「結局これが言いたかった」、「すごく便利ですね」はポジティブな意味、「ごめんなさい」、「忘れまして」はネガティブな意味に分類できるだろう。この観点より、本調査の結果を分析すると、ポジティブな意味の文章にポジティブな意味の顔文字を組み合わせると信頼度、感情度、評価度ともに増加し、ポジティブな意味の文章にネガティブな意味の顔文字を組み合わせると信頼度、感情度、評価度ともに減少することが推測される。同様に、ネガティブな意味の文章にネガティブな意味の顔文字を組み合わせると信頼度、感情度、評価度ともに増加し、ネガティブな意味の文章にポジティブな意味の顔文字を組み合わせると信頼度、感情度、評価度ともに減少することが推測される。ただし、「ごめんなさい」の感情度と評価度における顔文字なしと (+\_+) の間、「忘れまして」における、信頼度の顔文字なしと (+\_+) の間、感情度の (^\_^)・(-\_-;)・(+\_+) の間、評価度の (-\_-;) と (+\_+) の間に有意な差が認められないことから顔文字の影響がみられない組み合わせも存在することも確認された。この結果から、文章の意味と顔文字の意味、および、顔文字同士の意味が同等、もしくは、同値の場合（意味の融合）に顔文字の存在が文章の信頼度、感情度、評価度に対して影響を及ぼさないことが推測され、今後、この点を用いて文章や顔文字の意味構造を分析する方法なども考えられるだろう。

## 調 査 Ⅱ

目 的 顔文字の位置が、文章の信頼度・感情度・評価度に及ぼす影響を、7段階評定尺度法を用いて検討した。

被調査者 被調査者は、K大学、および、M大学で心理学（一般教養）を受講している学生、253名（男性94名、女性159名）で、平均19.6歳（18～28歳）であった。

調査時期 調査は、1999年10月、および、2000年7月に行った。

方 法 短文と顔文字は調査Ⅰと同じものを使用、「結局これが言いたかった」、「ごめんなさい」、「すごく便利ですね」、「忘れまして」という短文と「(^.^)」、「(^\_^)」、「(-\_-;)」、「(+\_+)」という顔文字を用い、顔文字なし（「忘れまして」など）、顔文字の位置が後の場合（「忘れまして(^.^)」など）の5種類の文章、および、顔文字の位置が前の場合（「(^.^)忘れまして」など）について、信頼度（信頼できる－信頼できない）、感情度（好き－嫌い）、評価度（良い－悪い）について7段階評定尺度法を用いて測定した。また、「(^.^)」、「(^\_^)」、「(-\_-;)」、「(+\_+)」のみについて、感情度、評価度、信頼度、「快－不快」度、「喜－悲」度、「怒－泣」度について測定した。また、各項目間の有意差検定は、対応のあるt検定を用いた。

### 結果

#### 1. メールの使用状況と顔文字の認知について

パソコン通信・インターネットでメールのやりとりを行っている人は全体の54.5%（138人）で、携帯電話・PHSでメールのやりとりを行っている人は全体の81.0%（205人）であった。また、被調査者のうち159名（62.8%）について、週あたりのメールの回数を調査した結果、一番多かったのは7日で47.8%（76人）、ついで、6日（12.6%；20人）、0日（10.7%；17人）、3日



(8.8% ; 14人), 5日 (6.3% ; 10人), 4日 (5.7% ; 9人), 2日 (5.0% ; 8人), 1日 (3.1% ; 5人)であった。また、「顔文字」という言葉を知っている人は全体の80.6% (204人), 「フェースマーク」という言葉を知っている人は全体の39.1% (99人)で, 実際に, 使用している人は39.1% (99人)であった。

調査Ⅰと調査Ⅱの結果との違いでは, 「パソコン通信・インターネットでメールのやり取りを行ったことがありますか」において, 「はい」と答えた人が調査Ⅰ (44.4%) から調査Ⅱ (80.6%) にかけて有意に増加 ( $X^2 = 25.4$ ,  $df = 1$ ,  $P < .001$ ) していることが確認された。また, 「顔文字という言葉を知っていますか」において, 「はい」と答えた人が調査Ⅰ (33.3%) から調査Ⅱ (54.5%) にかけて有意に増加 ( $X^2 = 76.1$ ,  $df = 1$ ,  $P < .001$ ) し, 「フェース・マークという言葉を知っていますか」において, 「はい」と答えた人が調査Ⅰ (26.8%) から調査Ⅱにかけて有意に増加 ( $X^2 = 34.4$ ,  $df = 1$ ,  $P < .001$ ) したことが確認された。

## 2. 顔文字について

### (1)項目得点について

信頼度において, ( $\wedge\wedge$ ) と ( $\wedge\_$ ) の間, ( $-\_;$ ) と ( $+\_+$ ) の間以外に, ( $\wedge\wedge$ ), ( $\wedge\_$ ) のほうが ( $-\_;$ ), ( $+\_+$ ) よりも信頼度が高いという有意な差 ( $P < .001$ ) が得られた。また, 感情度において, ( $\wedge\wedge$ ) > ( $\wedge\_$ ) > ( $-\_;$ ) > ( $+\_+$ ) の順で有意に感情度が高い ( $(-\_;) > (+\_+)$ ;  $P < .05$ , それ以外;  $P < .001$ ) という結果が得られた。評価度においては, ( $-\_;$ ) と ( $+\_+$ ) の間以外に, ( $\wedge\wedge$ ) > ( $\wedge\_$ ) > ( $-\_;$ ) > ( $+\_+$ ) という順で有意に評価度が高い ( $P < .001$ ) という結果が得られた (表4)。

「快-不快」度, 「喜-悲」度, 「怒-泣」度において, 「喜-悲」の項目における ( $-\_;$ ) と ( $+\_+$ ) の間, および, 「怒-泣」の項目における ( $\wedge\wedge$ ) と ( $\wedge\_$ ) の間以外に, ( $\wedge\wedge$ ) > ( $\wedge\_$ ) > ( $-\_;$ ) > ( $+\_+$ ) という順番で有意に項目得点が高い (「怒-泣」度における ( $-\_;$ ) > ( $+\_+$ );  $P < .05$ , それ以外;  $P < .001$ ) という結果が得られた (表4)。

表4 顔文字の評定値、および、検定結果 (t検定、df = 252)

	信頼度		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	5.0	1.92	—	t=1.379 ns	t=13.095 P<.001	t=11.502 P<.001
2 (^_^)	4.9	1.55		—	t=13.893 P<.001	t=12.725 P<.001
3 (-_-)	2.9	1.47			—	t=1.563 ns
4 (+_+)	3.1	1.58				—
	感情度		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	5.8	1.38	—	t=11.271 P<.001	t=8.905 P<.001	t=10.54 P<.001
2 (^_^)	4.9	1.46		—	t=2.790 P<.01	t=4.461 P<.001
3 (-_-)	4.5	1.76			—	t=1.966 P<.05
4 (+_+)	4.3	1.74				—
	評価度		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	5.8	1.35	—	t=5.289 P<.001	t=13.608 P<.001	t=11.888 P<.001
2 (^_^)	5.5	1.33		—	t=11.367 P<.001	t=10.008 P<.001
3 (-_-)	3.9	1.69			—	t=0.540 ns
4 (+_+)	3.8	2.19				—
	快—不快		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	5.7	1.53	—	t=5.937 P<.001	t=15.419 P<.001	t=15.828 P<.001
2 (^_^)	5.2	1.40		—	t=14.482 P<.001	t=13.140 P<.001
3 (-_-)	3.2	1.55			—	t=1.603 ns
4 (+_+)	3.4	1.58				—
	喜—悲		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	6.5	0.97	—	t=12.927 P<.001	t=33.636 P<.001	t=32.413 P<.001
2 (^_^)	5.5	1.09		—	t=27.103 P<.001	t=24.813 P<.001
3 (-_-)	2.8	1.21			—	t=0.495 ns
4 (+_+)	2.7	1.36				—
	怒—泣		1	2	3	4
	平均	標準偏差	(^^)	(^_^)	(-_-)	(+_+)
1 (^^)	4.0	0.75	—	t=1.516 ns	t=5.431 P<.001	t=9.375 P<.001
2 (^_^)	4.1	0.85		—	t=6.100 P<.001	t=10.328 P<.001
3 (-_-)	3.3	1.70			—	t=2.034 P<.05
4 (+_+)	3.1	1.32				—

## (2)調査 I との関係

調査 I と調査 II の結果との違いでは、(^\_^)において調査 I ( $\bar{X}=5.1$ ,  $SD=1.42$ ) より調査 II ( $\bar{X}=4.9$ ,  $SD=1.46$ ) のほうが感情度が有意に低い ( $t=1.99$ ,  $df=557$ ,  $P<.05$ ) 以外で、再現性が確認された。

## 3. 顔文字が文章に及ぼす影響

### (1)顔文字の位置が後の場合 (文章+顔文字)

#### 1)「結局これが言いたかった」について

信頼度において、顔文字なしと(^\_^)の間、(-\_-)と(+\_+)の間以外に、(^\_^) > (^\_^)・顔文字なし > (-\_-)・(+\_+) の順で信頼度が有意に高い ( $P<.001$ ) という差がみられた。感情度において、(^\_^) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-)・(+\_+) の順で感情度が有意に高い ( $P<.001$ ) という差がみられ

た。また、評価度において、 $(\wedge\wedge)$ と $(\wedge\_)$ の間、 $(-;-)$ と $(+_{+})$ の間以外に、 $(\wedge\wedge) \cdot (\wedge\_)$  > 顔文字なし >  $(-;-) \cdot (+_{+})$  で評価度が有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられた (表5, 6)。

## 2) 「ごめんなさい」について

信頼度において、顔文字なしと $(-;-)$ の間以外に、顔文字なし $\cdot(-;-)$  >  $(+_{+})$  >  $(\wedge\_)$  >  $(\wedge\wedge)$  の順で有意に高い (顔文字なし >  $(+_{+})$ ;  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という差がみられた。感情度において、顔文字なしと $(+_{+})$ の間以外に、 $(-;-)$  > 顔文字なし $\cdot(+_{+})$  >  $(\wedge\_)$  >  $(\wedge\wedge)$  の順で感情度が有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられた。また、評価度において、顔文字なしと $(+_{+})$ の間以外に、顔文字なし $\cdot(-;-)$  >  $(+_{+})$  >  $(\wedge\wedge)$  >  $(\wedge\_)$  の順で評価度が有意に高い (顔文字なし >  $(-;-)$ ;  $P < .05$ , その他;  $P < .001$ ) という差がみられた (表5, 6)。

## 3) 「すごく便利ですね」について

信頼度において、 $(-;-)$ と $(+_{+})$ の間以外に、 $(\wedge\_)$  >  $(\wedge\wedge)$  > 顔文字なし >  $(-;-) \cdot (+_{+})$  の順で信頼度が高いという有意な差 ( $P < .001$ ) がみられた。感情度において、 $(-;-)$ と $(+_{+})$ の間以外に、 $(\wedge\wedge)$  >  $(\wedge\_)$  > 顔文字なし >  $(-;-) \cdot (+_{+})$  の順で感情度が有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられた。また、評価度において、 $(\wedge\wedge)$  >  $(\wedge\_)$  > 顔文字なし >  $(+_{+})$  >  $(-;-)$  の順で評価度が有意に高い ( $(+_{+})$  >  $(-;-)$ ;  $P < .05$ ,  $(\wedge\wedge)$  >  $(\wedge\_)$ ;  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という差がみられた (表5, 6)。

## 4) 「忘れました」について

信頼度において、顔文字なしと $(-;-) \cdot (+_{+})$ の間以外に、 $(-;-)$  > 顔文字なし,  $(+_{+})$  >  $(\wedge\_)$  >  $(\wedge\wedge)$  の順で信頼度が有意に高い (顔文字なし >  $(\wedge\_)$   $\cdot(-;-)$ ,  $(+_{+})$  >  $(\wedge\_)$ ;  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という結果がえられた。感情度において、 $(\wedge\wedge) \cdot (-;-) \cdot (+_{+})$ の間以外に、 $(\wedge\wedge) \cdot (-;-) \cdot (+_{+})$  > 顔文字なし >  $(\wedge\wedge)$  の順で感情度が有意に高い ( $P < .001$ ) という差がみられた。また、評価度において、顔文字なしと $(\wedge\wedge) \cdot (+_{+})$ との間、 $(\wedge\wedge)$ と $(+_{+})$ との間、および、 $(-;-)$ と $(+_{+})$ との間以外で、 $(-;-) \cdot (+_{+})$  > 顔文字なし $\cdot(\wedge\wedge)$  >  $(\wedge\wedge)$  の順で評価度が有意に高い (顔文字なし >  $(-;-)$ );

$P < .05$ , ( $\wedge \wedge$ ) > ( $-_-$ );  $P < .05$ ) という差がみられた (表 5, 6).

表 5 顔文字 (後) が文章の信頼度の及ぼす影響

	信頼度		感情度		評価度	
	結局これが言いたかった					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.6	1.33	4.2	1.23	4.4	1.30
1 ( $\wedge \wedge$ )	5.0	1.61	5.2	1.52	5.0	1.51
2 ( $\wedge \_ \wedge$ )	4.7	1.45	4.7	1.45	4.9	1.50
3 ( $-_-$ )	3.1	1.52	3.2	1.49	3.4	1.46
4 ( $+ \_ +$ )	3.1	1.48	3.5	1.36	3.2	1.36
	ごめんなさい					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	5.0	1.39	4.7	1.45	4.8	1.45
1 ( $\wedge \wedge$ )	2.2	1.41	2.8	1.53	2.9	1.72
2 ( $\wedge \_ \wedge$ )	2.8	1.47	3.1	1.60	3.1	1.63
3 ( $-_-$ )	5.0	1.70	5.1	1.49	5.1	1.62
4 ( $+ \_ +$ )	4.6	1.75	4.7	1.62	4.6	1.65
	すごく便利ですね					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.7	1.21	4.8	1.32	4.6	1.28
1 ( $\wedge \wedge$ )	5.7	1.43	5.7	1.47	5.7	1.40
2 ( $\wedge \_ \wedge$ )	5.4	1.49	5.3	1.37	5.0	1.39
3 ( $-_-$ )	2.6	1.37	2.9	1.41	2.8	1.31
4 ( $+ \_ +$ )	2.7	1.36	2.9	1.28	3.0	1.41
	忘れました					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.5	1.46	4.1	1.35	4.4	1.37
1 ( $\wedge \wedge$ )	2.3	1.40	2.9	1.58	2.6	1.45
2 ( $\wedge \_ \wedge$ )	4.2	1.81	4.6	1.88	4.4	1.79
3 ( $-_-$ )	4.8	1.76	4.6	1.71	4.6	1.71
4 ( $+ \_ +$ )	4.5	1.70	4.7	1.54	4.6	1.62



## 5) 調査 I との関係

調査 I と調査 II における同項目の違いでは、「すごく便利ですね」において調査 I ( $\bar{X}=5.0$ ,  $SD=1.28$ ) より調査 II ( $\bar{X}=4.8$ ,  $SD=1.32$ ) のほうが感情度が有意に低い ( $t=2.55$ ,  $df=557$ ,  $P<.05$ ) 以外で、再現性が確認された。

また、調査 I と調査 II における項目間の有意差の違いでは、「結局これが言いたかった」の感情度における (-\_-;) と (+\_+) (調査 I : (-\_-;) < (+\_+);  $P<.001$ , 調査 II : ns), 「ごめんなさい」の信頼度における顔文字なしと (-\_-;) (調査 I : 顔文字なし < (-\_-);  $P<.05$ , 調査 II : ns), および、感情度における (-\_-;) と (+\_+) (調査 I : ns, 調査 II : (-\_-;) > (+\_+);  $P<.001$ ), 「すごく便利ですね」の評価度における (-\_-;) と (+\_+) (調査 I : ns, 調査 II : (-\_-;) < (+\_+);  $P<.05$ ), 「忘れました」の信頼度における (-\_-;) と (+\_+) (調査 I : ns, 調査 II : (-\_-;) > (+\_+);  $P<.001$ ), 評価度における顔文字なしと (-\_-;) (調査 I : 顔文字なし < (-\_-);  $P<.01$ , 調査 II : ns), (^\_^) と (-\_-;) (調査 I : (^\_^) < (-\_-);  $P<.01$ , 調査 II : ns) という結果が得られた。

### (2) 顔文字の位置が前の場合

#### 1) 「結局これが言いたかった」について

信頼度において、顔文字なしと (^\_^) の間, (^\_^) と (^\_^) の間, (-\_-;) と (+\_+) の間以外, (^\_^) · (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;) · (+\_+) の順で信頼度が有意に高い (顔文字なし > (^\_^);  $P<.01$ , その他;  $P<.001$ ) という結果がえられた。感情度において、顔文字なしと (^\_^) の間, (-\_-;) と (+\_+) の間以外に, (^\_^) > (^\_^) · 顔文字なし > (+\_+) · (-\_-;) の順で感情度が有意に高い ( $P<.001$ ) という結果が得られた。また、評価度において, (-\_-;) と (+\_+) の間以外に, (^\_^) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;) · (+\_+) の順で信頼度が有意に高い ((^\_^) > 顔文字なし, (^\_^) > (^\_^);  $P<.01$ ) という結果がえられた (表 7, 8)。

## 2) 「ごめんなさい」について

信頼度において、顔文字なしと (-\_-;)・(+\_+) の間以外で、(-\_-;) > 顔文字なし > (+\_+) > (^\_^) > (^.^) の順で信頼度が有意に高い ( $P < .001$ ) という結果がえられた。感情度において、顔文字なしと (+\_+) の間、(^.^) と (^\_^) の間以外、(-\_-;) > (+\_+)・顔文字なし > (^\_^)・(^.^) の順で感情度が有意に高い ((-\_-;) > (+\_+);  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という結果がえられた。また、評価度において、顔文字なしと (+\_+) の間以外に、(-\_-;) > 顔文字なし > (+\_+) > (^\_^) > (^.^) の順で感情度が有意に高い ((-\_-;) > 顔文字なし;  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という結果がえられた (表7, 8)。

## 3) 「すごく便利ですね」について

信頼度、感情度、および、評価度において、(-\_-;) と (+\_+) の間以外で、(^.^) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;)・(+\_+) の順で信頼度が有意に高い ( $P < .001$ ) という結果がえられた (表7, 8)。

## 4) 「忘れました」について

信頼度において、顔文字なしと (-\_-;)・(+\_+) の間以外で、(-\_-;) > (+\_+) > 顔文字なし > (^\_^) > (^.^) の順で信頼度が有意に高い ((^\_^) > (+\_+);  $P < .01$ , (-\_-;) > (+\_+);  $P < .05$ , その他;  $P < .001$ ) という結果がえられた。感情度において、顔文字なしと (^\_^) の間、(^\_^) と (+\_+) の間、(-\_-;) と (+\_+) の間以外で、(-\_-;)・(+\_+) > 顔文字なし・(^\_^) > (^.^) の順で信頼度が有意に高い ((-\_-;) > (^\_^);  $P < .01$ , その他;  $P < .001$ ) という結果がえられた。また、評価度において、顔文字なしと (^\_^)・(+\_+) の間、(-\_-;) と (+\_+) の間以外で、(-\_-;)・(+\_+) > (^\_^) > 顔文字なし > (-\_-;)・(+\_+) の順で信頼度が有意に高い (顔文字なし > (-\_-;), (^\_^) > (-\_-;)・(+\_+);  $P < .05$ ) という結果がえられた (表7, 8)。

表7 顔文字（前）が文章の信頼度の及ぼす影響

	信頼度		感情度		評価度	
	結局これが言いたかった					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.6	1.33	4.4	1.25	4.5	1.32
1 (^_^)	5.0	1.60	5.1	1.56	5.0	1.43
2 (^_ ^)	4.8	1.42	4.5	1.52	4.8	1.42
3 (-_-;)	3.1	1.58	3.3	1.59	3.4	1.43
4 (+_+)	3.2	1.49	3.5	1.52	3.3	1.42
	ごめんなさい					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	5.0	1.45	4.7	1.37	4.8	1.42
1 (^_^)	2.2	1.45	3.1	1.65	2.9	1.71
2 (^_ ^)	2.8	1.49	3.2	1.64	3.3	1.72
3 (-_-;)	5.2	1.63	5.1	1.58	5.2	1.60
4 (+_+)	4.8	1.70	4.8	1.72	4.6	1.72
	すごく便利ですね					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.7	1.26	4.7	1.33	4.6	1.31
1 (^_^)	5.8	1.45	5.7	1.47	5.7	1.49
2 (^_ ^)	5.3	1.42	5.2	1.44	5.1	1.40
3 (-_-;)	2.6	1.33	3.0	1.44	2.8	1.28
4 (+_+)	2.7	1.34	2.9	1.34	2.9	1.29
	忘れました					
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
0 なし	4.6	1.46	4.2	1.42	4.4	1.43
1 (^_^)	2.3	1.42	2.9	1.63	2.6	1.70
2 (^_ ^)	4.2	1.73	4.3	1.76	4.2	1.78
3 (-_-;)	4.8	1.78	4.7	1.74	4.7	1.71
4 (+_+)	4.5	1.75	4.6	1.75	4.5	1.73



表8 顔文字（前）が文章の信頼度に及ぼす影響（t検定、df=252）

	信頼度				感情度				評価度						
	0 なし	1 (^,^)	2 (^,^)	3 (-, -)	4 (+, +)	0 なし	1 (^,^)	2 (^,^)	3 (-, -)	4 (+, +)	0 なし	1 (^,^)	2 (^,^)	3 (-, -)	4 (+, +)
0 なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
1 (^,^)	P<.01	ns	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	ns	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.01	P<.001	P<.001
2 (^,^)	—	ns	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	—	P<.001	P<.001	P<.001	—	—	P<.01	P<.001	P<.001
3 (-,-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 (+,+)	—	—	ns	—	—	—	—	—	ns	—	—	—	—	—	ns
ごめんなさい															
0 なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
1 (^,^)	P<.001	P<.001	P<.001	ns	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	ns	P<.001	P<.001	P<.001	P<.01	ns
2 (^,^)	—	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	—	—	—	P<.001	P<.001	—	—	P<.001	P<.001	P<.001
3 (-,-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P<.001
4 (+,+)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P<.001
すごく便利ですね															
0 なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
1 (^,^)	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001
2 (^,^)	—	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	—	—	—	P<.001	P<.001	—	—	P<.001	P<.001	P<.001
3 (-,-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P<.001
4 (+,+)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ns
忘れました															
0 なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
1 (^,^)	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001
2 (^,^)	—	P<.001	P<.001	P<.001	P<.001	—	—	—	P<.001	P<.001	—	—	P<.001	P<.001	P<.001
3 (-,-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P<.05
4 (+,+)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ns

#### 4. 顔文字の位置の違いについて

信頼度、感情度、および、評価度ともに、顔文字の位置の違いに有意差は認められなかった。

**考察** 調査Ⅱで使用した顔文字は、調査Ⅰ同様、信頼度、感情度、評価度、「快-不快」、「喜-悲」、「怒-泣」の結果より、ポジティブな顔文字 ((^\_^)・(^.^)) とネガティブな顔文字 ((-\_-;)・(+\_+)) に分けられるだろう。この観点で、顔文字が文章に及ぼす影響を分析すると、「結局これが言いたかった」、「すごく便利ですね」、「ごめんなさい」、「忘れまして」において、調査Ⅰ同様の結果が得られた。また、顔文字の位置の違いに有意差が認められなかったことから、顔文字は、位置の前後に関係なく、文章の評価に同じ影響を及ぼすことが確認された。

二つの調査間の同項目間の違い、および、項目間の差の違いが、信頼度、感情度、評価度ともに、いくつかの項目・項目間で確認されたが、その原因として、調査Ⅰ（44.4%）から調査Ⅱ（80.6%）の期間にかけてパソコン通信・インターネットにおけるメール経験者（81.0%）が増加していること、近年、携帯やPHSによるメール使用者が増加していること（調査Ⅱ）から、短文（テキスト文字）によるメッセージや顔文字を使用する機会が増え、顔文字の使用や短文でのやりとりが日常的になってきていることが原因のひとつであると考えられるだろう。

#### 総合考察

調査Ⅰ、および、調査Ⅱの結果より、顔文字が文章に及ぼす影響としては、一般的に、文章と顔文字の意味が一致（ポジティブな意味の文章にポジティブな意味の顔文字、ネガティブな意味の文章にネガティブな意味の顔文字）すると信頼度、感情度、評価度ともに増加し、不一致（ポジティブな意味の文章にネガティブな意味の顔文字、ネガティブな意味の文章にポジティブな意味）の場合には減少するが、文章と顔文字の内容が融合してしまうような、まったく同値・同等の場合には影響を及ぼさない場合もあることが確認された。また、

顔文字の位置による違いは、信頼度、感情度、評価度ともないことが確認され、違いが存在するとしたらメッセージを完全に読み取った後ではなく、メッセージを受けとって読んでいる時点の時系列的なものであると推測される。以上のことから、文章と顔文字の意味が不一致の場合には誤解を生じさせる可能性が高くなることが考えられ、不一致の組み合わせを用いる場合には、戸梶(1997)の提言のように、相手との関係を考慮して使用していく必要があるだろう。

調査Ⅰと調査Ⅱの結果に有意差のある項目が確認されたことから、今後、パソコン・携帯電話などによる短文(テキスト文字)や顔文字の使用頻度やTV・新聞などのメディアからの短文(テキスト文字)や顔文字の使用頻度の変化に伴い、それらのメッセージについての信頼度、感情度、評価度も変化することが予測される。

今後の課題として、その他のメッセージや顔文字について、世代別の信頼度、感情度、評価度の違い、送信者と受信者の関係による違いなどの研究を行っていく必要があるだろう。

#### reference

- Chesebro, J. W. & Bonsall, D. G. 1989 Computer-mediated communication : Human relationships in a computerized world. Tuscaloosa : University of Alabama Press.
- 川浦康至 1990 パソコン通信のゆくえ. 横浜市立大学論集 (人文科学系列), 41, 115-146
- 中丸 茂 2001 単語の繰り返しが文章の信頼度に及ぼす影響. 駒澤心理学論集. 3, 1-9
- 野島久雄 1993 絵文字の心理的効果. 現代のエスプリ 306 メディアコミュニケーション : コミュニケーターの心理, 136-142
- 戸梶亜紀彦 1997 コンピュータ上でのコミュニケーションにみられる情緒表現に関する研究—情緒表出記号の使用について—. 広島県立大学紀要, 8, 2, 125-139
- Wolf, A. 2000 Emotional expression online; Gender differences in emoticon use.

## 脚注

## # 1. 論題の脚注

本論文は、下記の発表における調査研究の詳細報告である。

中丸茂 1999 顔文字が文章の信頼度に及ぼす影響. 日本グループ・ダイナミックス学会第47回大会論文集, 24-25

中丸茂 2000 顔文字が文章の信頼度に及ぼす影響(2). 日本グループ・ダイナミックス学会第48回大会論文集, 70-73

## # 2. 調査Ⅰの結果の脚注

各検定の t 値を付表として添付した

## # 3. 調査Ⅱの結果の脚注

各検定の t 値を付表として添付した

## 1. Title : Effect of emoticon to short sentences

## 2. abstract

In these researches, there are dealt with effects of emoticon to short sentences using seven-points scales about degrees of trust, emotion, evaluation.

The purposes of the research I are effects of a short sentence with or without a emoticon and difference of kinds of emoticon. In the results, cases of same meaning match between a short sentence and a face mark increase degree of trust, emotion, and evaluation, cases of mismatch-meaning match between these decrease degree of trust, emotion, and evaluation, but cases of fusion-meaning match between these are not influences to trust, emotion, and evaluation. With these results, mismatch-meanings are misleading for receivers in males by internet and portable telephones.

The purposes of research II are effects of emoticon positions, pre-sentence or

post-sentence. There are no significant difference about trust, emotion, and evaluation.

Because users of internet's and portable telephone's males increase from research I to research II, there are significant differences in some iter-items between research I and research II.

3. key word : emoticon, short sentence, trust, emotion, evaluation





